



その他のコマンド : 2

- `capwap ap controller ip address` (3 ページ)
- `config ap dhcp release-override` (4 ページ)
- `capwap ap dot1x` (5 ページ)
- `capwap ap hostname` (6 ページ)
- `capwap ap ip address` (7 ページ)
- `capwap ap ip default-gateway` (8 ページ)
- `capwap ap log-server` (9 ページ)
- `capwap ap mode` (10 ページ)
- `capwap ap primary-base` (11 ページ)
- `capwap ap primed-timer` (12 ページ)
- `capwap ap secondary-base` (13 ページ)
- `capwap ap tertiary-base` (14 ページ)
- `lwapp ap controller ip address` (15 ページ)
- `reset system at` (16 ページ)
- `reset system in` (17 ページ)
- `reset system cancel` (18 ページ)
- `reset system notify-time` (19 ページ)
- `reset peer-system` (20 ページ)
- `save config` (21 ページ)
- `transfer download certpassword` (22 ページ)
- `transfer download datatype` (23 ページ)
- `transfer download datatype icon` (25 ページ)
- `transfer download filename` (26 ページ)
- `transfer download mode` (27 ページ)
- `transfer download password` (28 ページ)
- `transfer download path` (29 ページ)
- `transfer download port` (30 ページ)
- `transfer download serverip` (31 ページ)
- `transfer download start` (32 ページ)

- [transfer download tftpPktTimeout](#) (33 ページ)
- [transfer download tftpMaxRetries](#) (34 ページ)
- [transfer download username](#) (35 ページ)
- [transfer encrypt](#) (36 ページ)
- [transfer upload datatype](#) (37 ページ)
- [transfer upload filename](#) (39 ページ)
- [transfer upload mode](#) (40 ページ)
- [transfer upload pac](#) (41 ページ)
- [transfer upload password](#) (42 ページ)
- [transfer upload path](#) (43 ページ)
- [transfer upload port](#) (44 ページ)
- [transfer upload serverip](#) (45 ページ)
- [transfer upload start](#) (46 ページ)
- [transfer upload username](#) (47 ページ)

capwap ap controller ip address

アクセス ポイントのコンソール ポートから CAPWAP アクセス ポイントにコントローラの IP アドレスを設定するには、**capwap ap controller ip address** コマンドを使用します。

capwap ap controller ip address *A.B.C.D*

構文の説明	<i>A.B.C.D</i>	コントローラの IP アドレス。
コマンド デフォルト	なし	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.6	このコマンドは、リリース 7.6 以前のリリースで導入されました。
	8.0	このコマンドは、IPv4 アドレス形式のみをサポートします。

使用上のガイドライン

このコマンドはアクセス ポイントのコンソール ポートから入力する必要があります。このコマンドは、IPv4 アドレスのみに適用されます。



(注) アクセス ポイントで Cisco IOS Release 12.3(11)JX1 以降のリリースが実行されている必要があります。

次に、CAPWAP アクセス ポイントにコントローラ IP アドレス 10.23.90.81 を設定する例を示します。

```
ap_console >capwap ap controller ip address 10.23.90.81
```

config ap dhcp release-override

Cisco AP で DHCP リリース オーバーライドを設定するには、**config ap dhcp release-override** コマンドを使用します。

```
config ap dhcp release-override {enable | disable} {cisco-ap-name | all}
```

構文の説明	enable	DHCP リリース オーバーライドを有効にして、AP によって送信される DHCP リリースの数を 1 に設定します。AP の IP アドレスを不良としてマークする少数の DHCP サーバに関する回避策として使用されます。この設定は、信頼性の高いネットワークでのみ使用することをお勧めします。
	disable	DHCP リリース オーバーライドを無効にして、AP によって送信される DHCP リリースの数を 3（デフォルト値）に設定します。これにより、いずれかのパケットが失われた場合でも、DHCP サーバはリリース メッセージを受信します。
	<i>cisco-ap-name</i>	ユーザが入力する Cisco AP に適用される設定。
	all	すべての Cisco AP に適用される設定。
コマンド デフォルト	無効	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	8.2	このコマンドが導入されました。
使用上のガイドライン	Windows Server 2008 R2 または 2012 を搭載した Cisco Lightweight AP を DHCP サーバとしてを使用している場合は、このコマンドを使用してください。	

capwap ap dot1x

アクセスポイントのコンソールポートから CAPWAP アクセスポイントに dot1x ユーザ名とパスワードを設定するには、**capwap ap dot1x** コマンドを使用します。

capwap ap dot1x username *user_name* password *password*

構文の説明	<i>user_name</i>	Dot1x ユーザ名。
	<i>password</i>	Dot1x パスワード。
コマンドデフォルト	なし	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.6	このコマンドは、リリース 7.6 以前のリリースで導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドはアクセスポイントのコンソールポートから入力する必要があります。



(注) アクセスポイントで Cisco Access Point IOS Release 12.3(11)JX1 以降のリリースが実行されている必要があります。

次に、dot1x のユーザ名 ABC とパスワード pass01 を設定する例を示します。

```
ap_console >capwap ap dot1x username ABC password pass01
```

capwap ap hostname

アクセス ポイントのコンソール ポートからアクセス ポイントのホスト名を設定するには、**capwap ap hostname** コマンドを使用します。

capwap ap hostname *host_name*

構文の説明	<i>host_name</i>	アクセス ポイントのホスト名。
コマンド デフォルト	なし	
コマンド履歴	リリース 7.6	変更内容 このコマンドは、リリース7.6以前のリリースで導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドはアクセス ポイントのコンソール ポートから入力する必要があります。



- (注) アクセス ポイントで Cisco IOS Release 12.3(11)JX1 以降のリリースが実行されている必要があります。このコマンドは、**private-config** なしで Cisco Lightweight AP IOS ソフトウェア リカバリ イメージ (rcvk9w8) でのみ使用できます。**clear capwap private-config** コマンドを使用して、**private-config** を削除できます。

次に、capwap アクセス ポイントにホスト名 WLC を設定する例を示します。

```
ap_console >capwap ap hostname WLC
```

capwap ap ip address

アクセスポイントのコンソールポートからCAPWAPアクセスポイントにIPアドレスを設定するには、**capwap ap ip address** コマンドを使用します。

capwap ap ip address *A.B.C.D*

構文の説明	<i>A.B.C.D</i>	IP アドレス
コマンド デフォルト	なし	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.6	このコマンドは、リリース7.6以前のリリースで導入されました。
	8.0	このコマンドは、IPv4 アドレス形式のみをサポートします。

使用上のガイドライン

このコマンドはアクセスポイントのコンソールポートから入力する必要があります。このコマンドは、IPv4 アドレス形式のみをサポートします。



(注) アクセスポイントで Cisco Access Point IOS Release 12.3(11)JX1 以降のリリースが実行されている必要があります。

次に、CAPWAP アクセスポイントに IP アドレス 10.0.0.1 を設定する例を示します。

```
ap_console >capwap ap ip address 10.0.0.1
```

capwap ap ip default-gateway

アクセスポイントのコンソールポートからデフォルトゲートウェイを設定するには、**capwap ap ip default-gateway** コマンドを使用します。

capwap ap ip default-gateway A.B.C.D

構文の説明	A.B.C.D	capwap アクセスポイントのデフォルトゲートウェイアドレス。
コマンド デフォルト	なし	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.6	このコマンドは、リリース 7.6 以前のリリースで導入されました。
	8.0	このコマンドは、IPv4 アドレス形式のみをサポートします。

使用上のガイドライン このコマンドはアクセスポイントのコンソールポートから入力する必要があります。このコマンドは、IPv4 アドレス形式のみをサポートします。



(注) アクセスポイントで Cisco Access Point IOS Release 12.3(11)JX1 以降のリリースが実行されている必要があります。

次に、デフォルトゲートウェイアドレスが 10.0.0.1 の CAPWAP アクセスポイントを設定する例を示します。

```
ap_console >capwap ap ip default-gateway 10.0.0.1
```


capwap ap log-server

システム ログ サーバをすべての CAPWAP エラーを記録するように設定するには、**capwap ap log-server** コマンドを使用します。

capwap ap log-server *A.B.C.D*

構文の説明	<i>A.B.C.D</i>	Syslog サーバの IP アドレス。
コマンド デフォルト	なし	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.6	このコマンドは、リリース 7.6 以前のリリースで導入されました。
	8.0	このコマンドは、IPv4 アドレス形式のみをサポートします。

使用上のガイドライン このコマンドはアクセス ポイントのコンソール ポートから入力する必要があります。このコマンドは、IPv4 アドレス形式のみをサポートします。



(注) アクセス ポイントで Cisco Access Point IOS Release 12.3(11)JX1 以降のリリースが実行されている必要があります。

次に、IP アドレス 10.0.0.1 の Syslog サーバを設定する例を示します。

```
ap_console >capwap ap log-server 10.0.0.1
```

capwap ap mode

アクセスポイントでローカルまたはブリッジモードを設定するには、**capwap ap mode** コマンドを使用します。

capwap ap mode local | bridge

構文の説明

local アクセスポイントをローカルモードで設定します。

bridge アクセスポイントをブリッジモードで設定します。

コマンドデフォルト

なし

コマンド履歴

リリース	変更内容
8.0	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドはアクセスポイントのコンソールポートから入力する必要があります。



(注) このコマンドを実行すると、アクセスポイントが再起動します。

次に、アクセスポイントでブリッジモードを設定する例を示します。

```
ap_console #capwap ap mode bridge
```

capwap ap primary-base

アクセスポイントのコンソールポートからCAPWAPアクセスポイントにプライマリコントローラの名前とIPアドレスを設定するには、**capwap ap primary-base** コマンドを使用します。



(注) このコマンドは、Cisco Wave 2 AP の IPv4 および IPv6 アドレスを設定します。

capwap ap primary-base *WORD A.B.C.D*

構文の説明

<i>WORD</i>	プライマリコントローラの名前。
<i>A.B.C.D</i>	プライマリコントローラのIPアドレス。

コマンドデフォルト

なし

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.6	このコマンドは、リリース7.6以前のリリースで導入されました。
8.0	このコマンドはIPv4およびIPv6アドレス形式をサポートします。

使用上のガイドライン

このコマンドはアクセスポイントのコンソールポートからイネーブルモード（昇格されたアクセス）で入力する必要があります。

次に、CAPWAPアクセスポイントに、プライマリコントローラ名 WLC1 とプライマリコントローラのIPアドレス 209.165.200.225 を設定する例を示します。

```
ap_console >capwap ap primary-base WLC1 209.165.200.225
```

capwap ap primed-timer

用意されたタイマーを CAPWAP アクセス ポイントに設定するには、**capwap ap primed-timer** コマンドを使用します。

capwap ap primed-timer {enable | disable}

構文の説明	enable	用意されたタイマーの設定をイネーブルにします
	disable	用意されたタイマーの設定をディセーブルにします。
コマンド デフォルト	なし	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.6	このコマンドは、リリース 7.6 以前のリリースで導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドはアクセス ポイントのコンソール ポートから入力する必要があります。



(注) アクセス ポイントで Cisco Access Point IOS Release 12.3(11)JX1 以降のリリースが実行されている必要があります。

次に、用意されたタイマーの設定をイネーブルにする例を示します。

```
ap_console >capwap ap primed-timer enable
```

capwap ap secondary-base

アクセスポイントのコンソールポートから CAPWAP アクセスポイントにセカンダリ Cisco WLC の名前と IP アドレスを設定するには、**capwap ap secondary-base** コマンドを使用します。

capwap ap secondary-base *controller_name controller_ip_address*

構文の説明	<i>controller_name</i>	セカンダリ Cisco WLC の名前。
	<i>controller_ip_address</i>	セカンダリ Cisco WLC の IP アドレス。
コマンドデフォルト	なし	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.6	このコマンドは、リリース 7.6 以前のリリースで導入されました。
	8.0	このコマンドは、IPv4 アドレス形式のみをサポートします。

使用上のガイドライン このコマンドはアクセスポイントのコンソールポートから入力する必要があります。このコマンドは、IPv4 アドレス形式のみをサポートします。



(注) アクセスポイントで Cisco Access Point IOS Release 12.3(11)JX1 以降のリリースが実行されている必要があります。

次に、セカンダリ Cisco WLC の名前 WLC2 およびセカンダリ Cisco WLC の IP アドレス 209.165.200.226 を CAPWAP アクセスポイントに設定する例を示します。

```
ap_console >capwap ap secondary-base WLC2 209.165.200.226
```

capwap ap tertiary-base

アクセス ポイントのコンソール ポートから CAPWAP アクセス ポイントにターシャリ Cisco WLC の名前と IP アドレスを設定するには、**capwap ap tertiary-base** コマンドを使用します。

capwap ap tertiary-base *WORD*.*A.B.C.D*

構文の説明	<i>WORD</i>	ターシャリ Cisco WLC の名前。
	<i>A.B.C.D</i>	ターシャリ Cisco WLC の IP アドレス。
コマンド デフォルト	なし	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.6	このコマンドは、リリース 7.6 以前のリリースで導入されました。
	8.0	このコマンドは、IPv4 アドレス形式のみをサポートします。

使用上のガイドライン このコマンドはアクセス ポイントのコンソール ポートから入力する必要があります。このコマンドは、IPv4 アドレス形式のみをサポートします。



(注) アクセス ポイントで Cisco IOS Release 12.3(11)JX1 以降のリリースが実行されている必要があります。

次に、WLC3 という名前のターシャリ Cisco WLC およびセカンダリ Cisco WLC の IP アドレス 209.165.200.227 を CAPWAP アクセス ポイントに設定する例を示します。

```
ap_console >capwap ap tertiary-base WLC3 209.165.200.227
```

lwapp ap controller ip address

アクセス ポイントのコンソール ポートから FlexConnect アクセス ポイントに Cisco WLC の IP アドレスを設定するには、**lwapp ap controller ip address** コマンドを使用します。

lwapp ap controller ip address *A.B.C.D*

構文の説明	<i>A.B.C.D</i>	コントローラの IP アドレス。
コマンド デフォルト	なし	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.6	このコマンドは、リリース 7.6 以前のリリースで導入されました。
	8.0	このコマンドは、IPv4 アドレス形式のみをサポートします。

使用上のガイドライン このコマンドはアクセス ポイントのコンソール ポートから入力する必要があります。このコマンドは、IPv4 アドレスのみに適用されます。

アクセス ポイントのコンソール ポートを使用してアクセス ポイントの FlexConnect 設定を変更する前に、アクセス ポイントをスタンドアロンモード（コントローラに接続されていない状態）にし、**clear lwapp private-config** コマンドを使用して現在の LWAPP プライベート設定を削除する必要があります。



(注) アクセス ポイントで Cisco IOS Release 12.3(11)JX1 以上のリリースが実行されている必要があります。

次に、FlexConnect アクセス ポイントにコントローラ IP アドレス 10.92.109.1 を設定する例を示します。

```
ap_console > lwapp ap controller ip address 10.92.109.1
```

reset system at

指定した時間にシステムをリセットするには、**reset system at** コマンドを使用します。

reset system at YYYY-MM-DD HH:MM:SS image {no-swap|swap} reset-aps [save-config]

構文の説明		
	YYYY-MM-DD	日付を指定します。
	HH: MM: SS	24 時間形式で時刻を指定します。
	image	イメージが再起動されるように設定します。
	swap	アクティブなブート イメージを変更します。非アクティブなイメージを起動し、次の起動時にそこにデフォルト フラグを設定します。
	no-swap	アクティブなイメージから起動します。
	reset-aps	システムのリセット中にすべてのアクセス ポイントをリセットします。
	save-config	(任意) システムのリセット前に設定を保存します。

コマンド デフォルト なし

コマンド履歴

リリース 変更内容
ス

7.6 このコマンドは、リリース 7.6 以前のリリースで導入されました。

次に、2010-03-29 および 12:01:01 にシステムをリセットする例を示します。

```
(Cisco Controller) > reset system at 2010-03-29 12:01:01 image swap reset-aps save-config
```


reset system in

デバイスがリブートするまでの遅延時間を指定するには、**reset system in** コマンドを使用します。

reset system in HH:MM:SS image {swap | no-swap} reset-aps save-config

構文の説明	HH:MM:SS	遅延時間を指定します。
	image	イメージが再起動されるように設定します。
	swap	アクティブなブートイメージを変更します。非アクティブなイメージを起動し、次の起動時にそこにデフォルトフラグを設定します。
	no-swap	アクティブなイメージから起動します。
	reset-aps	システムのリセット中にすべてのアクセスポイントをリセットします。
	save-config	システムのリセット前に設定を保存します。

コマンドデフォルト なし

コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.6	このコマンドは、リリース 7.6 以前のリリースで導入されました。

次に、00:01:01 の遅延後、システムをリセットする例を示します。

```
(Cisco Controller) > reset system in 00:01:01 image swap reset-aps save-config
```

reset system cancel

スケジュールされたリセットを取り消すには、**reset system cancel** コマンドを使用します。

reset system cancel

構文の説明 このコマンドには引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト なし

コマンド履歴 リリース 変更内容
ス

7.6 このコマンドは、リリース 7.6 以前のリリースで導入されました。

次に、スケジュールされたリセットを取り消す例を示します。

```
(Cisco Controller) > reset system cancel
```

reset system notify-time

スケジュールされたリセット前にトラップ生成を設定するには、**reset system notify-time** コマンドを使用します。

reset system notify-time *minutes*

構文の説明

minutes

スケジュールされた各リセットの何分前に、トラップを生成するか。

コマンド デフォルト

デフォルトでは、スケジュールされたリセットの 10 分前にトラップを生成するように設定されています。

コマンド履歴

リリース 変更内容
ス

7.6 このコマンドは、リリース 7.6 以前のリリースで導入されました。

次に、スケジュールされたリセットの 10 分前にトラップ生成を設定する例を示します。

```
(Cisco Controller) > reset system notify-time 55
```

reset peer-system

ピア コントローラをリセットするには、**reset peer-system** コマンドを使用します。

reset peer-system

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.6	このコマンドは、リリース7.6以前のリリースで導入されました。

次に、ピア コントローラをリセットする例を示します。

```
> reset peer-system
```

save config

コントローラの設定を保存するには、**save config** コマンドを使用します。

save config

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド履歴

リリース 変更内容
ス

7.6 このコマンドは、リリース 7.6 以前のリリースで導入されました。

次に、コントローラの設定を保存する例を示します。

```
(Cisco Controller) > save config
Are you sure you want to save? (y/n) y
Configuration Saved!
```

transfer download certpassword

オペレーティング システムが Web アドミニストレーション SSL キーおよび証明書の暗号化を解除できるように、.PEM ファイルのパスワードを設定するには、**transfer download certpassword** コマンドを使用します。

transfer download certpassword *private_key_password*

構文の説明	<i>private_key_password</i>	証明書の秘密キーのパスワード。
コマンド デフォルト	なし	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.6	このコマンドは、リリース 7.6 以前のリリースで導入されました。

次に、証明書の秘密キーパスワード **certpassword** を使用してファイルをスイッチに転送する例を示します。

```
(Cisco Controller) > transfer download certpassword
Clearing password
```

transfer download datatype

ダウンロードするファイルタイプを設定するには、**transfer download datatype** コマンドを使用します。

```
transfer download datatype {avc-protocol-pack | code | config | eapdevcert | eapcacert
| icon | image | ipseccacert | ipsecdevcert | login-banner | radius-avplist | signature |
webadmincert | webauthbundle | webauthcert}
```

構文の説明		
	avc-protocol-pack	システムに AVC プロトコルパックをダウンロードします。
	code	システムに実行可能イメージをダウンロードします。
	config	コンフィギュレーションファイルをダウンロードします。
	eapcacert	システムに EAP ca 証明書をダウンロードします。
	eapdevcert	システムに EAP dev 証明書をダウンロードします。
	icon	システムに実行可能イメージをダウンロードします。
	image	システムに Web ログインページをダウンロードします。
	ipseccacert	システムに IPSec 認証局 (CA) 証明書をダウンロードします。
	ipsecdevcert	システムに IPSec dev 証明書をダウンロードします。
	login-banner	コントローラのログインバナーをダウンロードします。最大 1500 バイトのテキストファイルのみがサポートされます。
	radius-avplist	FTP サーバから XML ファイル形式で RADIUS AVP をダウンロードします。
	signature	システムにシグニチャ ファイルをダウンロードします。
	webadmincert	システムに Web 管理の証明書をダウンロードします。

webauthbundle	システムにカスタム Web 認証バンドルをダウンロードします。
webauthcert	システムに Web ポータルの Web 証明書をダウンロードします。

コマンド デフォルト なし

コマンド履歴 リリース 変更内容

7.6 このコマンドは、リリース 7.6 以前のリリースで導入されました。

8.0 **ipseccacert**、**ipsecdevcert**、および **radius-avplist** オプションが導入されました。

次に、システムに実行可能イメージをダウンロードする例を示します。

```
(Cisco Controller) > transfer download datatype code
```


transfer download datatype icon

コントローラ上に TFTP または FTP サーバからアイコンをダウンロードするには、**transfer download datatype icon** コマンドを使用します。

transfer download datatype icon

構文の説明	なし				
コマンド デフォルト	なし				
コマンド モード	WLAN の設定				
コマンド履歴	<table border="1"> <thead> <tr> <th>リリース</th> <th>変更内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>リリース 8.2</td> <td>このコマンドが導入されました。</td> </tr> </tbody> </table>	リリース	変更内容	リリース 8.2	このコマンドが導入されました。
リリース	変更内容				
リリース 8.2	このコマンドが導入されました。				

使用上のガイドライン

例

次に、コントローラ上に TFTP または FTP サーバからアイコンをダウンロードする例を示します。

```
Cisco Controller > transfer download datatype icon
```

transfer download filename

特定のファイルをダウンロードするには、**transfer download filename** コマンドを使用します。

transfer download filename *filename*

構文の説明	<i>filename</i>	ファイル名には、512文字までの英数字を使用できます。
コマンドデフォルト	なし	
コマンド履歴	リリース 7.6	変更内容 このコマンドは、リリース 7.6 以前のリリースで導入されました。
使用上のガイドライン	\:*?"<> のような特殊文字はファイルパスに使用できません。★セグメント分割★★セグメント分割★	

次に、**build603** という名前のファイルを転送する例を示します。

```
(Cisco Controller) > transfer download filename build603
```

transfer download mode

転送モードを設定するには、**transfer download mode** コマンドを使用します。

transfer upload mode { ftp | tftp | sftp }

構文の説明	ftp	転送モードを FTP に設定します。
	tftp	転送モードを TFTP に設定します。
	sftp	転送モードを SFTP に設定します。
コマンドデフォルト	なし	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.6	このコマンドは、リリース 7.6 以前のリリースで導入されました。

次に、TFTP モードを使用してファイルを転送する例を示します。

```
(Cisco Controller) > transfer download mode tftp
```

transfer download password

FTP 転送用のパスワードを設定するには、**transfer download password** コマンドを使用します。

transfer download password *password*

構文の説明	<i>password</i>	パスワード。
コマンド デフォルト	なし	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.6	このコマンドは、リリース 7.6 以前のリリースで導入されました。

次に、FTP 転送用のパスワードを `pass01` に設定する例を示します。

```
(Cisco Controller) > transfer download password pass01
```

transfer download path

特定のFTPまたはTFTPパスを設定するには、**transfer download path** コマンドを使用します。

transfer download path *path*

構文の説明

path

ディレクトリパス。

(注) TFTP または FTP サーバのパス名は、サーバのデフォルトまたはルートディレクトリからの相対パスです。たとえば、Solarwinds TFTP サーバの場合、パスは「/」になります。

コマンドデフォルト

なし

コマンド履歴

リリース 変更内容
ス

7.6 このコマンドは、リリース 7.6 以前のリリースで導入されました。

使用上のガイドライン

\:*?"<>|のような特殊文字はファイルパスに使用できません。★セグメント分割★ ★セグメント分割★

次に、ファイルをパス `c:\install\version2` に転送する例を示します。

```
(Cisco Controller) > transfer download path c:\install\version2
```

transfer download port

FTP ポートを指定するには、**transfer download port** コマンドを使用します。

transfer download port *port*

構文の説明	<i>port</i>	FTP ポート。
コマンド デフォルト	デフォルトの FTP ポートは 21 です。	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.6	このコマンドは、リリース 7.6 以前のリリースで導入されました。
	ch	

次に、FTP ポート番号 23 を指定する例を示します。

```
(Cisco Controller) > transfer download port 23
```

transfer download serverip

情報をダウンロードする TFTP サーバの IP アドレスを指定するには、**transfer download serverip** コマンドを使用します。

transfer download serverip *ip-addr*

構文の説明	<i>ip-addr</i>	TFTP サーバの IPv4 または IPv6 アドレス。
コマンド デフォルト	なし	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.6	このコマンドは、リリース 7.6 以前のリリースで導入されました。
	8.0	このコマンドは、IPv4 と IPv6 の両方のアドレス形式をサポートします。

次に、TFTP サーバの IPv4 アドレスを設定する例を示します。

```
(Cisco Controller) > transfer download serverip 175.34.56.78
```

次に、TFTP サーバの IPv6 アドレスを設定する例を示します。

```
(Cisco Controller) > transfer download serverip 2001:10:1:1::1
```

transfer download start

ダウンロードを開始するには、**transfer download start** コマンドを使用します。

transfer download start

構文の説明 このコマンドには引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト なし

コマンド履歴	リリース	変更内容
7.6		このコマンドは、リリース 7.6 以前のリリースで導入されました。

次に、ダウンロードを開始する例を示します。

```
(Cisco Controller) > transfer download start
Mode..... TFTP
Data Type..... Site Cert
TFTP Server IP..... 172.16.16.78
TFTP Path..... directory path
TFTP Filename..... webadmincert_name
This may take some time.
Are you sure you want to start? (y/n) Y
TFTP Webadmin cert transfer starting.
Certificate installed.
Please restart the switch (reset system) to use the new certificate.
```


transfer download tftpPktTimeout

TFTP パケットのタイムアウトを指定するには、**transfer download tftpPktTimeout** コマンドを使用します。

transfer download tftpPktTimeout *timeout*

構文の説明	<i>timeout</i>	秒単位でのタイムアウト（1～254）。
コマンド デフォルト	なし	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.6	このコマンドは、リリース 7.6 以前のリリースで導入されました。

次に、55 秒の TFTP パケットのタイムアウトを設定してファイルを転送する例を示します。

```
(Cisco Controller) > transfer download tftpPktTimeout 55
```

transfer download tftpMaxRetries

許可する TFTP パケット再試行数を指定するには、**transfer download tftpMaxRetries** コマンドを使用します。

transfer download tftpMaxRetries *retries*

構文の説明	<i>retries</i>	1 ~ 254 秒の間で許可する TFTP パケット再試行数。
コマンド デフォルト	なし	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.6	このコマンドは、リリース 7.6 以前のリリースで導入されました。

次に、許可する TFTP パケット再試行数を 55 に指定する例を示します。

```
(Cisco Controller) > transfer download tftpMaxRetries 55
```

transfer download username

FTP ユーザ名を指定するには、**transfer download username** コマンドを使用します。

transfer download username *username*

構文の説明	<i>username</i>	[Username]。
コマンド デフォルト	なし	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.6	このコマンドは、リリース 7.6 以前のリリースで導入されました。

次に FTP ユーザ名を `ftp_username` に設定する例を示します。

```
(Cisco Controller) > transfer download username ftp_username
```

transfer encrypt

コンフィギュレーション ファイル転送の暗号化を設定するには、**transfer encrypt** コマンドを使用します。

transfer encrypt {**enable** | **disable** | **set-key** *key*}

構文の説明	enable	暗号化設定をイネーブルにします。
	disable	暗号化設定をディセーブルにします。
	set-key	コンフィギュレーション ファイル転送の暗号キーを設定します。
	<i>key</i>	config ファイル転送の暗号キー。
コマンド デフォルト	なし	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.6	このコマンドは、リリース 7.6 以前のリリースで導入されました。

次に、暗号化設定をイネーブルにする例を示します。

```
(Cisco Controller) > transfer encrypt enable
```

transfer upload datatype

指定したログおよびクラッシュファイルをアップロードするようにコントローラを設定するには、**transfer upload datatype** コマンドを使用します。

```
transfer upload datatype {ap-crash-data | config | coredump | crashfile | debug-file |
eapcacert | eapdevcert | errorlog | invalid-config | ipseccacert | ipsecdevcert | pac |
packet-capture | panic-crash-file | radio-core-dump | radius-avplist | rrm-log | run-config
| signature | systemtrace | traplog | watchdog-crash-filewebadmindcert | webauthbundle
| webauthcert}
```

構文の説明		
	ap-crash-data	AP クラッシュ ファイルをアップロードします。
	config	システム コンフィギュレーション ファイルをアップロードします。
	coredump	コア ダンプ ファイルをアップロードします。
	crashfile	システム クラッシュ ファイルをアップロードします。
	debug-file	システムの デバッグ ログ ファイルをアップロードします。
	eapcacert	EAP CA 証明書をアップロードします。
	eapdevcert	EAP Dev 証明書をアップロードします。
	errorlog	システム エラー ログ ファイルをアップロードします。
	invalid-config	システムの 無効な コンフィギュレーション ファイルをアップロードします。
	ipseccacert	CA 証明書 ファイルをアップロードします。
	ipsecdevcert	デバイス 証明書 ファイルをアップロードします。
	pac	Protected Access Credential (PAC) をアップロードします。
	packet-capture	パケット キャプチャ ファイルをアップロードします。
	panic-crash-file	カーネル パニック 情報 ファイルをアップロードします。

radio-core-dump	システムエラーログをアップロードします。
radius-avplist	コントローラから RADIUS サーバへ XML ファイルをアップロードします。
rrm-log	システムのトラップログをアップロードします。
run-config	WLC の実行コンフィギュレーションをアップロードします。
signature	システムシグニチャファイルをアップロードします。
systemtrace	システムトレースファイルをアップロードします。
traplog	システムトラップログをアップロードします。
watchdog-crash-file	クラッシュの後、ソフトウェアウォッチドッグによって開始されるコントローラのレポートから生じるコンソールのダンプファイルをアップロードします。
webadmincert	Web 管理証明書をアップロードします。
webauthbundle	Web 認証バンドルをアップロードします。
webauthcert	Web 証明書をアップロードします。

コマンド デフォルト なし

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.6	このコマンドは、リリース 7.6 以前のリリースで導入されました。
8.0	ipseccacert 、 ipseccdevcert 、および radius-avplist オプションが導入されました。

次に、システムエラーログファイルをアップロードする例を示します。

```
(Cisco Controller) > transfer upload datatype errorlog
```

transfer upload filename

特定のファイルをアップロードするには、**transfer upload filename** コマンドを使用します。

transfer upload filename *filename*

構文の説明	<i>filename</i>	最大 16 文字の英数字を含むファイル名。
コマンド デフォルト	なし	
コマンド履歴	リリース 変更内容 7.6	このコマンドは、リリース 7.6 以前のリリースで導入されました。
使用上のガイドライン	\:*?"<> のような特殊文字はファイルパスに使用できません。★セグメント分割★★セグメント分割★	

次に、ファイル build603 をアップロードする例を示します。

```
(Cisco Controller) > transfer upload filename build603
```

transfer upload mode

転送モードを設定するには、**transfer upload mode** コマンドを使用します。

transfer upload mode {ftp | tftp | sftp}

構文の説明	ftp	転送モードを FTP に設定します。
	tftp	転送モードを TFTP に設定します。
	sftp	転送モードを SFTP に設定します。
コマンド デフォルト	なし	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.6	このコマンドは、リリース 7.6 以前のリリースで導入されました。

次に、転送モードを TFTP に設定する例を示します。

```
(Cisco Controller) > transfer upload mode tftp
```


transfer upload pac

ローカル認証機能をサポートする Protected Access Credential (PAC) をロードしてクライアントが PAC をインポートできるようにするには、**transfer upload pac** コマンドを使用します。

transfer upload pac *username validity password*

構文の説明	<i>username</i>	PAC のユーザ ID。
	<i>validity</i>	PAC の有効期間 (日数)。
	<i>password</i>	PAC を保護するパスワード。

コマンド デフォルト なし

コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.6	このコマンドは、リリース 7.6 以前のリリースで導入されました。

使用上のガイドライン クライアント アップロード プロセスでは TFTP または FTP サーバが使用されます。

次に、ユーザ名 `user1`、有効期限 53、およびパスワード `pass01` である PAC をアップロードする例を示します。

```
(Cisco Controller) > transfer upload pac user1 53 pass01
```

transfer upload password

FTP 転送用のパスワードを設定するには、**transfer upload password** コマンドを使用します。

構文の説明	<i>password</i>	FTP サーバへのアクセスに必要なパスワード。
-------	-----------------	-------------------------

transfer upload password *password*

コマンド デフォルト	なし
------------	----

コマンド履歴	リリース 変更内容 ス
--------	----------------

7.6	このコマンドは、リリース 7.6 以前のリリースで導入されました。
-----	-----------------------------------

次に、FTP 転送用のパスワードを `pass01` に設定する例を示します。

```
(Cisco Controller) > transfer upload password pass01
```

transfer upload path

特定のアップロードパスを設定するには、**transfer upload path** コマンドを使用します。

transfer upload path *path*

構文の説明	<i>path</i>	ファイルへのサーバパス。
コマンドデフォルト	なし	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.6	このコマンドは、リリース 7.6 以前のリリースで導入されました。
使用上のガイドライン	\:*?"<> のような特殊文字はファイルパスに使用できません。★セグメント分割★★セグメント分割★	

次に、アップロードパスを `c:\install\version2` に設定する例を示します。

```
(Cisco Controller) > transfer upload path c:\install\version2
```

transfer upload port

FTP ポートを指定するには、**transfer upload port** コマンドを使用します。

transfer upload port *port*

構文の説明	<i>port</i>	ポート番号。
コマンドデフォルト	デフォルトの FTP ポートは 21 です。	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.6	このコマンドは、リリース 7.6 以前のリリースで導入されました。

次に、FTP ポート番号 23 を指定する例を示します。

```
(Cisco Controller) > transfer upload port 23
```

transfer upload serverip

ファイルをアップロードする TFTP サーバの IPv4 または IPv6 アドレスを設定するには、**transfer upload serverip** コマンドを使用します。

transfer upload serverip *ip-addr*

構文の説明	<i>ip-addr</i>	TFTP サーバの IPv4 または IPv6 アドレス。
コマンド デフォルト	なし	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.6	このコマンドは、リリース 7.6 以前のリリースで導入されました。
	8.0	このコマンドは、IPv4 と IPv6 の両方のアドレス形式をサポートします。

次に、TFTP サーバの IPv4 アドレスを 175.31.56.78 に設定する例を示します。

```
(Cisco Controller) > transfer upload serverip 175.31.56.78
```

次に、TFTP サーバの IPv6 アドレスを 175.31.56.78 に設定する例を示します。

```
(Cisco Controller) > transfer upload serverip 2001:10:1:1::1
```

transfer upload start

アップロードを開始するには、**transfer upload start** コマンドを使用します。

transfer upload start

構文の説明 このコマンドには引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト なし

コマンド履歴 リリース 変更内容
ス

7.6 このコマンドは、リリース 7.6 以前のリリースで導入されました。

次に、ファイルのアップロードを行う例を示します。

```
(Cisco Controller) > transfer upload start
Mode..... TFTP
TFTP Server IP..... 172.16.16.78
TFTP Path..... c:\find\off/
TFTP Filename..... wps_2_0_75_0.aes
Data Type..... Code
Are you sure you want to start? (y/n) n
Transfer Cancelled
```

transfer upload username

FTP ユーザ名を指定するには、**transfer upload username** コマンドを使用します。

transfer upload username

構文の説明	<i>username</i>	FTP サーバへのアクセスに必要なユーザ名。 ユーザ名には、最大31文字を使用できます。
コマンド デフォルト	なし	
コマンド履歴	リリース 7.6	変更内容 このコマンドは、リリース 7.6 以前のリリースで導入されました。

次に FTP ユーザ名を `ftp_username` に設定する例を示します。

```
(Cisco Controller) > transfer upload username ftp_username
```

transfer upload username